

# 新型コロナウイルス感染症に係る 「貸施設」利用ついでの実施ガイドライン

## 1. 目的

このガイドラインは、イベント主催者等に対し、「感染しない、させない」という観点から参加者一人ひとりの感染対策への意識を高めるとともに、対策を行うことを促し、病原体が持ち込まれることを最小限にするるとともに、もし、持ち込まれたとしても集団内で二次感染が起きるリスクを最小限とすることを目的とする。

## 2. 適用期間

令和2年6月2日から当面の間とする。

## 3. 対象

博物館施設（講座室、実習室）、美術館施設（スタジオ、アトリエ、講座室）、共有施設（講堂）を利用して開催されるすべての催事。ただし、県民ギャラリー1・2・3には適用されない。

## 4. 各施設における収容人数の制限

各施設における利用人数の制限は下表の通りです。

※下表の収容人数はイベント実施日における、「沖縄県イベント等実施ガイドライン」に応じるものとする。また、まん延防止等重点措置期間外の開催については収容人数に変動がある場合がある。

### (1) 【まん延防止等重点措置の期間で、かつ、必要な感染防止策が担保される場合

施設名		参加可能人数	
		大声での歓声・ 声援あり	大声での歓声・ 声援なし
博物館施設	博物館 講座室	50名以内	80～100名以内
	博物館 実習室	15名以内	30名以内
美術館施設	県民ギャラリースタジオ	15名以内	30名以内
	県民アトリエ	10名以内	15名以内
	こどもアトリエ	10名以内	15名以内
	美術館 講座室	30名以内	50～60名以内
その他	講堂	100名以内	210名以内

※上記の人数には運営側は含めて実施すること。

※異なる観客グループ間では座席を1席空け、同一グループ（5人以内）内では座席間隔を設けなくてもよいものとする。

### (2) 【緊急事態宣言発出中(県独自の緊急事態宣言含む)の期間で、かつ、必要な感染防止策が担保される場合】

施設名		参加可能人数	
		大声での歓声・ 声援あり	大声での歓声・ 声援なし
博物館施設	博物館 講座室	50名以内	50名以内

博物館施設	博物館 実習室	15名以内	15名以内
美術館施設	県民ギャラリースタジオ	15名以内	15名以内
	県民アトリエ	10名以内	10名以内
	こどもアトリエ	10名以内	10名以内
	美術館 講座室	30名以内	30名以内
その他	講堂	100名以内	100名以内

※上記の人数には運営側は含めて実施すること。

※オンライン開催や、感染防止対策を講じた上での分散開催、又は規模を縮小することを検討してください。

## 5. 当館施設をご利用される主催者の方へ

1) イベント開催を企画する場合には、主催者は以下の項目について感染リスクの評価を行い、必要な措置を講じることとする。

- ① 開催規模（参加人数、参集範囲）
- ② 開催場所（換気の状態）
- ③ 開催期間・時期（同一空間での滞在時間）
- ④ 参加者同士の距離（近距離又は対面）
- ⑤ 参加者の特性（高齢者や基礎疾患を有する者）
- ⑥ 不特定多数か否か（事前申込制か当日先着順か）
- ⑦ 大声を発するか（歓声・声援等の発声の有無）

※隣席の者との日常会話程度は可（マスク着用が前提）

※演者が歌唱等行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）

2) 開催時における実施事項

- ①事前申込時及び来場時に氏名、連絡先（電話番号、メールアドレス）を把握する。
- ②自宅での検温、来場時のマスク着用の徹底を事前に周知し、以下の項目に該当する方に対しては、イベント参加への自粛を要請する。
  - ・発熱の症状がある方（体温 37.5℃以上）
  - ・風邪症状のある方。
  - ・過去 14 日間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方
  - ・感染拡大している地域や国への訪問歴が 14 日以内にある方。
  - ・体調不良の方
- ③入退場時の手指消毒を徹底し、こまめな手洗い、咳エチケットを励行する。
- ④イベント開催中におけるマスクの着用を徹底する。
- ⑤密閉空間にしないよう、開催時には空調設備を稼働（準備・片付けを含む）し、定期的に休憩時間を設けるなどの対策を講じる。
- ⑥人の密集を避けるため、他者間の間隔（1m、できれば 2m）を確保するよう会場レイアウトの工夫をする。また、入退場の際は時間差を設ける等の対策を講じる。
- ⑦参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので、ふき取りを行う。
- ⑧参加者の中に、大声を出す者がいた場合は、個別で注意・対応等ができる体制を整備すること。
- ⑨参加者全員に対して、厚生労働省の接触確認アプリ「COCOA」のインストロールや沖縄県の公式LINEアカウント「RICCA」の利用を促すこと。

3) 保健所等の公的機関への協力

当該イベントより、感染者が発生した場合、後日、追跡できるような体制を整え、必要に応じてイベント参加者（運営側も含む）の氏名、連絡先等の提出や聞き取り調査への協力をする。また、その際に知りえた個人情報の取り扱いは、法令を遵守するとともに適正な管理を徹底する。

## 沖縄県立博物館・美術館「貸施設」における 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る誓約書

沖縄県立博物館・美術館の施設を使用して催物を開催するにあたり、主催者側として新型コロナウイルス感染拡大防止の措置を講じます。

また、催物を安全かつ円滑に開催するため、以下のとおり「沖縄県立博物館・美術館における「貸施設」利用に係る実施ガイドライン」を遵守します。

誓 約 事 項	
沖縄県立博物館・美術館における「貸施設」利用に係る実施ガイドラインを読み、イベントを企画するにあたり感染リスクの評価を行い、必要な措置を講じます。	
参加者の氏名・連絡先の把握など対策は講じます。 また、その際に知りえた個人情報の取り扱いは、法令を遵守するとともに適正な管理を徹底します。	
利用施設の参加人数を超えないように対策を講じます。	
参加者への自宅での検温・マスクの着用を事前に周知徹底します。 また、以下の項目に該当する参加者に対してはイベント参加への自粛を要請します。 ① 発熱の症状がある方（体温 37.5℃以上） ② 風邪症状のある方。 ③ 過去 14 日間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方 ④ 感染拡大している地域や国への訪問歴が 14 日以内にある方。 ⑤ 体調不良の方	
入場時の手指消毒を徹底し、こまめな手洗い、咳エチケットを励行する。	
イベント開催時のマスクの着用を徹底します。マスク未着用およびマスクをずらしている者がいた場合は注意します。	
密閉空間にしないよう、開催時には空調設備を稼働し、定期的に休憩時間を設けるなど対策を講じます。	
人の密集を避けるため、他者間の間隔（1m、できれば 2m）を確保するよう会場レイアウトの工夫、また、入退場の際は時間差を設ける等の対策を講じます。	
当該イベントより、感染者が発生した場合、後日、追跡できるような体制を整え、必要に応じてイベント参加者（運営側も含む）の氏名、連絡先等の提出や聞き取り調査に協力します。	

誓 約 書	
主催者会社名	沖縄県立博物館・美術館 指定管理者（一財）沖縄美ら島財団
上記の誓約事項を遵守します。 責任者氏名 (申請者名)	担当者氏名
印	印